

令和2年1月 全国百貨店売上高概況

令和2年2月21日

I. 概況

1. 売上高総額	4,703億円余
2. 前年同月比	-3.1% (店舗数調整後/4か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	75社 207店 (令和元年12月対比-1社1店)
4. 総店舗面積	5,251,172㎡ (前年同月比:-4.2%)
5. 総従業員数	63,564人 (前年同月比:-6.1%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	6-8月 -0.7%、7-9月 6.8%、8-10月 2.0%、 9-11月 -1.1%、10-12月 -8.8%、11-1月 -4.7%

[参考] 平成31年1月の売上高増減率は-2.9% (店舗数調整後)

【特徴】

1月の売上高は3.1%減と前月より1.9ポイント改善したものの、4か月連続マイナスとなった。記録的な暖冬で季節需要が減退し、主力の衣料品を中心に冬物商材が苦戦した。インバウンドは、春節の月ズレ(昨年2月5日→本年1月25日)で二桁増となったが、下旬からは新型コロナウイルスの影響により、国内外の集客・売上共に厳しい商況となった。

顧客別では、国内市場(4.5%減/4か月連続/シェア93.3%)はマイナスしたが、インバウンドは当月については売上高約316億円(20.9%増/4か月ぶり/シェア6.7%)、購買客数約45万人(8.7%増/8か月ぶり)となり、共に前年実績を上回った。

地区別では、都市(10都市/2.5%減)、地方(10都市以外の地区/4.6%減)共に対前年比マイナスだが、減少幅は前月に比べ、都市で2.1ポイント、地方で1.3ポイント改善した。なお、2都市(札幌、広島)、2地区(北海道、東北)では前年をクリアした。

商品別では、主要5品目のうち、食料品(0.2%減)はほぼ前年並みとなった。下旬にスタートしたバレンタイン商戦が好調な滑り出しを見せており、菓子(1.7%増)がプラス転換した。また、身のまわり品(1.4%減)と雑貨(1.5%減)は僅かに届かなかったが、堅調な富裕層消費とインバウンド効果から、化粧品(0.5%増)と高額品(美・宝・貴/2.3%増)は共に4か月ぶりに前年実績を超えた。衣料品(6.8%減)は天候与件から、コートを中心とした重衣料が苦戦したが、ジャケット、カットソー、ブラウスなど春物商材に動きが見られた。

【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「1月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇全国的に寒気の南下が弱かったため、気温は東・西日本で記録的な高温となり、北・東・西日本日本海側の降雪量はかなり少なく、1961年の統計開始以降1月として最も少なかった。

(2) 営業日数増減 30.1日(前年同月比 +0.1日)

(3) 土・日・祝日の合計 10日(// ±0日)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数114店舗)

①増加した: 29店、②変化なし: 35店、③減少した: 50店

(5) 1月歳時記(初売り、クリアランス)の売上(同上/有効回答数85店舗)

①増加した: 8店、②変化なし: 30店、③減少した: 47店

全国百貨店 売上高速報 2020年1月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
全国	470,399,604	100.0	-3.1 (-4.5)
10都市	337,500,107	71.7	-2.5 (-2.7)
札幌	14,229,376	3.0	0.5
仙台	6,704,011	1.4	-4.7
東京	129,249,680	27.5	-2.4 (-2.7)
横浜	28,820,282	6.1	-2.8
名古屋	31,016,545	6.6	-2.6
京都	19,781,096	4.2	-4.4
大阪	68,140,775	14.5	-2.2
神戸	11,128,748	2.4	-10.5 (-8.5)
広島	10,803,493	2.3	4.4
福岡	17,626,101	3.7	-3.9
10都市以外の地区	132,899,497	28.3	-4.6 (-8.9)
北海道	1,124,302	0.2	4.5 (-39.2)
東北	5,930,498	1.3	0.4 (-13.7)
関東	58,469,597	12.4	-3.7 (-8.2)
中部	10,683,999	2.3	-4.3 (-5.8)
近畿	18,611,011	4.0	-4.5 (-3.6)
中国	10,030,931	2.1	-7.1
四国	7,853,017	1.7	-4.6
九州	20,196,142	4.3	-8.2 (-15.2)

第2表 商品別売上高

商品別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
総 額	470,399,604	100.0	-3.1 (-4.5)
紳士服・洋品	35,859,865	7.6	-7.4 (-8.9)
婦人服・洋品	102,613,197	21.8	-6.0 (-7.6)
子供服・洋品	10,043,106	2.1	-9.2 (-11.1)
その他衣料品	9,295,843	2.0	-10.5 (-12.2)
衣 料 品	157,812,011	33.5	-6.8 (-8.4)
身のまわり品	69,699,038	14.8	-1.4 (-3.1)
化粧品	43,026,621	9.1	0.5 (-0.3)
美術・宝飾・貴金属	26,016,443	5.5	2.3 (1.6)
その他雑貨	15,549,580	3.3	-11.9 (-15.0)
雑 貨	84,592,644	18.0	-1.5 (-2.9)
家 具	3,888,416	0.8	-11.4 (-13.3)
家 電	901,532	0.2	1.2 (1.0)
その他家庭用品	12,486,887	2.7	-8.0 (-11.2)
家 庭 用 品	17,276,835	3.7	-8.3 (-11.1)
生 鮮 食 品	20,328,384	4.3	-2.5 (-4.7)
菓 子	34,213,349	7.3	1.7 (1.3)
惣 菜	26,121,232	5.6	-0.4 (-1.2)
その他食料品	33,580,488	7.1	-0.5 (-2.8)
食 料 品	114,243,453	24.3	-0.2 (-1.6)
食 堂 喫 茶	11,850,246	2.5	-1.1 (-3.8)
サ ー ビ ス	4,363,882	0.9	1.0 (-1.7)
そ の 他	10,561,495	2.2	6.1 (17.0)
商 品 券	6,435,610	1.4	-8.2 (-8.3)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | - 2.5% (店舗数調整後/4か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | - 4.6% (店舗数調整後/4か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	- 2.5	- 1.8	4か月連続マイナス
札幌	0.5	0.0	4か月ぶりプラス
仙台	- 4.7	- 0.1	4か月連続マイナス
東京	- 2.4	- 0.7	4か月連続マイナス
横浜	- 2.8	- 0.2	4か月連続マイナス
名古屋	- 2.6	- 0.2	4か月連続マイナス
京都	- 4.4	- 0.2	4か月連続マイナス
大阪	- 2.2	- 0.3	4か月連続マイナス
神戸	- 10.5	- 0.2	4か月連続マイナス
広島	4.4	0.1	4か月ぶりプラス
福岡	- 3.9	- 0.2	4か月連続マイナス
10都市以外の地区	- 4.6	- 1.3	4か月連続マイナス
北海道	4.5	0.0	4か月ぶりプラス*
東北	0.4	0.0	4か月ぶりプラス*
関東	- 3.7	- 0.5	4か月連続マイナス
中部	- 4.3	- 0.1	4か月連続マイナス
近畿	- 4.5	- 0.2	4か月連続マイナス
中国	- 7.1	- 0.2	4か月連続マイナス*
四国	- 4.6	- 0.1	4か月連続マイナス
九州	- 8.2	- 0.4	4か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、4か月連続で全品目がマイナスとなった。その他の品目は、家電、菓子が2か月ぶり、化粧品、美術・宝飾・貴金属が4か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-3.1	—	4か月連続マイナス
紳士服・洋品	-7.4	-0.6	4か月連続マイナス
婦人服・洋品	-6.0	-1.3	4か月連続マイナス
子供服・洋品	-9.2	-0.2	4か月連続マイナス
その他衣料品	-10.5	-0.2	4か月連続マイナス
衣料品	-6.8	-2.4	4か月連続マイナス
身のまわり品	-1.4	-0.2	4か月連続マイナス
化粧品	0.5	0.0	4か月ぶりプラス*
美術・宝飾・貴金属	2.3	0.1	4か月ぶりプラス*
その他雑貨	-11.9	-0.4	4か月連続マイナス*
雑貨	-1.5	-0.3	4か月連続マイナス
家具	-11.4	-0.1	4か月連続マイナス
家電	1.2	0.0	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	-8.0	-0.2	4か月連続マイナス
家庭用品	-8.3	-0.3	4か月連続マイナス
生鮮食品	-2.5	-0.1	15か月連続マイナス*
菓子	1.7	0.1	2か月ぶりプラス*
惣菜	-0.4	-0.0	4か月連続マイナス*
その他食料品	-0.5	-0.0	4か月連続マイナス*
食料品	-0.2	-0.0	4か月連続マイナス
食堂喫茶	-1.1	-0.0	4か月連続マイナス
サービス	1.0	0.0	4か月ぶりプラス
その他	6.1	0.1	3か月連続プラス
商品券	-8.2	-0.1	107か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>